

中学校・高等学校の国語の教科書に 掲載された漢文の教材一覧

宮 崎 洋 一

昔の日本人は、訓読と呼ばれる中国の書籍を日本語の語順で読んでゆく方法によって、中国の文化の摂取に勉めてきた。その結果、その内容や章句は漢文として、日本の古典に大きな影響を与えただけでなく、古典の一部として日本の文化の中に根付いている。しかし、その一方で、漢文は、中国の古典全体と比べてみると、その内容に大きな特徴を持っている。

本稿は、漢文のそうした特徴を、中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された題材を整理し、確かめようとするものである。

今回採用した教科書は以下の通りである。中学校の「国語」は平成 17 年 3 月検定済の「国語」1～3 の教科書（5 社、各社 1 種）、高等学校の「国語総合」は平成 18 年 3 月検定済の教科書（10 社、計 23 種）、高等学校の「古典」は平成 15 年 3 月検定済・平成 19 年 2 月検定済・平成 20 年 2 月検定済の教科書（11 社、計 13 種）である。中学校の「国語」と高等学校の「国語総合」の教科書はすべての教科書を検討し、高等学校の「古典」の教科書は各出版社で一つの教科書を原則とし、採られた教材が全く重ならない 2 社に限って、二つの教科書を検討した。

<中学校>

学図 『中学校 国語』1～3、学校図書、平成 17 年 3 月検定済（707・807・907）

教出 『伝え合う言葉』1～3、教育出版、平成 17 年 3 月検定済（709・809・

909)

三省堂 『現代の国語』 1～3、三省堂、平成 17 年 3 月検定済 (708・808・908)

東書 『新しい国語』 1～3、東京書籍、平成 17 年 3 月検定済 (706・806・906)

光村 『国語』 1～3、光村図書、平成 17 年 3 月検定済 (710・810・910)

<高等学校「国語総合」>

教出 a 『国語総合』(改訂版) 教育出版、平成 18 年 3 月検定済 (国総 032)

教出 b 『新国語総合』(改訂版) 教育出版、平成 18 年 3 月検定済 (国総 033)

桐原 a 『探求国語総合(古典編)』(改訂版) 桐原書店、平成 18 年 3 月検定済 (国総 048)

桐原 b 『展開国語総合』(改訂版) 桐原書店、平成 18 年 3 月検定済 (国総 049)

桐原 c 『発見国語総合』 桐原書店、平成 18 年 3 月検定済 (国総 050)

三省堂 a 『高等学校国語総合』 三省堂、平成 18 年 3 月検定済 (国総 029)

三省堂 b 『新編国語総合改訂版』 三省堂、平成 18 年 3 月検定済 (国総 030)

三省堂 c 『明解国語総合』 三省堂、平成 18 年 3 月検定済 (国総 031)

数研 『国語総合』 数研出版、平成 18 年 3 月検定済 (国総 036)

第一 a 『新訂国語総合』「古典編」、第一学習社、平成 18 年 3 月検定済 (国総 043)

第一 b 『改訂版国語総合』 第一学習社、平成 18 年 3 月検定済 (第一、国総 044)

第一 c 『改訂版高等学校標準国語総合』 第一学習社、平成 18 年 3 月検定済 (国総 045)

第一総 d 『改訂版 新編国語総合』 第一学習社、平成 18 年 3 月検定済 (国総 046)

大修館 a 『国語総合』(改訂版) 大修館書店、平成 18 年 3 月検定済 (国総 034)

大修館 b 『新編 国語総合』(改訂版) 大修館書店、平成 18 年 3 月検定済 (国

総 035)

筑摩 a 『精選国語総合(古典編)』(改訂版) 筑摩書房、平成 18 年 3 月検定済(国総 040)

筑摩 b 『国語総合』(改訂版) 筑摩書房、平成 18 年 3 月検定済(国総 041)

東書 a 『国語総合』(古典編) 東京書籍、平成 18 年 3 月検定済(国総 028)

東書 b 『精選国語総合』 東京書籍、平成 18 年 3 月検定済(国総 026)

東書 c 『新編国語総合』 東京書籍、平成 18 年 3 月検定済(国総 025)

明治 a 『新精選国語総合』 明治書院、平成 18 年 3 月検定済(国総 037)

明治 b 『高校生の国語総合』 明治書院、平成 18 年 3 月検定済(国総 038)

右文 『国語総合』 右文書院、平成 18 年 3 月検定済(国総 014)

<高等学校「古典」>

教出古 a 『古典漢文編』 教育出版、平成 15 年 3 月検定済(古典 008)

教出古 b 『精選古典漢文』 教育出版、平成 15 年 3 月検定済(古典 010)

桐原古 『高等学校古典(漢文編)改訂版』 桐原書店、平成 19 年 2 月検定済(古典 048)

三省堂古 『高等学校古典漢文編(改訂版)』 三省堂、平成 19 年 2 月検定済(古典 031)

数研古 『古典漢文編』 数研出版、平成 19 年 2 月検定済(古典 036)

第一古 『改訂版高等学校古典漢文編』 第一学習社、平成 19 年 2 月検定済(古典 043)

大修館古 1 『古典 1 改訂版』 大修館書店、平成 19 年 2 月検定済(古典 033)

大修館古 2 『古典 2 改訂版』 大修館書店、平成 20 年 2 月検定済(古典 049)

筑摩古 『精選古典漢文編』 筑摩書房、平成 19 年 2 月検定済(古典 040)

東書古 『古典漢文編』 東京書籍、平成 19 年 2 月検定済(古典 029)

明治古 『新精選古典』 明治書院、平成 19 年 2 月検定済(古典 015)

右文古 『古典』 右文書院、平成 15 年 3 月検定済(古典 017)

記載の方法は下記の通りである。

No.……大きく中国と日本に分けた上での教材の通し番号。

時代……中国と日本の時代や王朝。さらに、大きく、「古代」（上古～後漢、紀元後 220 年まで）・「中世」（三国～唐五代、959 年まで）・「近世」（宋～清、1911 年まで）・「近現代」（1912 年以降）、日本、に分けて太線で区切った。

文体……特に詩の場合にその型式を記した。古体詩の場合は「古詩」、さらに 1 句の字数が一定の場合は「五古」（五言古詩）など、近体詩の場合は「五絶」（五言絶句）「七律」（七言律詩）など。

出典／作者……その教材の出典や作者。

生卒……教材の中心人物や詩文の作者の生卒。本稿では、教材は、出典の書籍の成立年代ではなく、教材の中心人物や詩文の作者の時代順に並べた。例えば、一番上の「鼓腹撃壤」は、太古の聖天子の堯が中心人物であるが、出典は元の曾先之の『十八史略』であるように、歴史書などでは、出典となった書籍が成立した時代と書かれている事件や人物の時代が離れている場合があるからである。

中学校「国語」／高等学校「国語総合」……中学校「国語」と高等学校「国語総合」における教材の掲載箇所。上記の一覧で冒頭に掲げた出版社の略称で大別した上で、中学校の「国語」は教材が載せられた学年と掲載ページをゴシックで記し、高等学校の「国語総合」は、同じ出版社の教科書は abc…で区別して掲載ページを明朝体で記し、複数の教科書にある場合はその一つのみの掲載ページを記して+印を付した。

高等学校「古典」……高等学校「古典」における教材の掲載箇所。中学校「国語」／高等学校「国語総合」と同様に、出版社の略称で大別した上で掲載ページを記した。、二つの教科書を採用した 2 社の教科書については、a・b または 1・2 で区別した。散文などでは、文章全体を掲載している教科書に*印をつけた。

この整理によって得られた中学校と高等学校の教科書にとられた教材は、中国の古代のもの 221 種、中世のもの 137 種、近世のもの 21 種、近現代のもの 1 種で中国のもの合計は 380 種、日本のものは 38 種、全体の合計 418 種である。このうちの近現代の教材 1 種と日本の教材 38 種を除いた中国の古

代から近世までの 379 種の内容を考えるならば、中学校・高等学校の漢文の教材には、『論語』『孟子』『老子』『莊子』などに代表される思想、『史記』『戦国策』『十八史略』などに代表される歴史、李白や杜甫などに代表される文学など、さまざまな古典を含んでいる。漢文が中国の「文学」とは異なる所以である。そして、哲・史・文という近代以降の学問の分化が、漢文の教育に大きな影響を与えていると考えられる。

さらに、高校で読んでいる漢文の教材が、中国の古代と中世のものに偏っていることがわかる。極端に言えば、古代の散文と中世の近体詩が中心となっている、と言えるだろう。教材となるべき中国の詩文は、宋代以降も書かれ、現在残っている量からすれば、古代と中世のものよりはるかに多い分量が残っているが、漢文の内容、ひいては日本人になじみの深い漢文の内容は、古い時代に大きく偏っているということが、この整理からも明らかである。そして、とられた教材が中国の古代と中世に偏っていることは、漢文を訓読で理解してきた日本人の限界でもあろう。よく知られた『三国志演義』『水滸伝』『西遊記』などが漢文の教材になっていないのは、訓読という方法は、中国の文言文の理解のためには有効だが、特に近代以降の、口語や俗語が多く混じった文章の理解のためには、有効な方法とはなり得なかったからである。

さらに子細に見るならば、高等学校の「国語総合」と「古典」の間にも、いくつかの特徴が見出せる。例えば、『論語』はどちらにも多く教材になっているが、『老子』『莊子』『墨子』『荀子』などはほとんど「古典」での教材になっていて、儒教に関連する教材にまず重点が置かれていること、詩は近体詩が中心となっていて、古詩は「古典」になって多くとられており、近体詩の型式を含めた理解がまず重視されていること、日本の漢文もそのほとんどが高等学校「古典」でとられていてること、など興味深い。

平成 24 年度以降の中学校・高等学校の教科書との違いなども含めて、今後も検討を続けてゆきたい。

(本学教授)

別表

№	時代	文体	教材	出典／作者	生卒	中學校「國語」／ 高等学校「国語総合」	高等学校「古典」
1	上古	歌謡歌謠		『十八史略』	堯		第一古 014
2	上古	楚風		『楚辭』	屈原		明治古 251
3	殷	甲骨・殷書	天道は是か非か	『史記』伯夷列伝	商辛氏		教研古 092, 筑摩古 030
4	西周	記歴		『列子』	杞：周代		桐原古 013, 明治古 099
5	西周	助成		『孟子』公孫丑上			第一古 008, 大修館古 1-170
6	春秋	知に如すること明を顯し		『韓非子』說難	鄭武公：位 BC770-BC744		桐原古 136, 大修館古 1-256, 右文古 251
7	春秋	預言の交代		『十八史略』／『史記』管晏列伝	管仲：？-BC645		三省堂古 010, 大修館古 2-194, 東書古 086
8	春秋	預言を堂上に顕む、高麗篇を堂下に擧る。		『在』／『天運』	齊威王：位 BC685-BC643		明治古 278
9	春秋	義指く		『春秋』生氏伝、宣公四年	BC605		三省堂古 012
10	春秋	儀孟		『史記』滑稽列伝	魯莊王：位 BC613-BC591		第一古 108
11	春秋	両面の蛇		『蒙求』	梁敬敏：楚莊王の宰相		桐原古 009, 第一古 009
12	春秋	精言に入る		『春秋』生氏伝、成公十年	第一-d 221		教出古 a-084, 桐原古 016, 三省堂古 078, 教研古 076, 大修館古 1-218, 筑摩古 104, 東書古 056, 明治古 121, 右文古 204
13	春秋	精天		『詩経』周南	春秋前半		三省堂古 079
14	春秋	脚帖		『詩経』魏風	春秋前半		東書古 057
15	春秋	占詩		『詩経』魏風	春秋前半		第一古 007
16	春秋	婦儀の勢		『淮南子』人間訓	齊宣公：位 BC553-BC548		明治古 268
17	春秋	人ごとと其の宝を背するにしかず		『新序』	子罕：BC567-BC546頃		第一古 074
18	春秋	季札劍を掛く		『蒙求』	季札：BC561?-515?		三省堂古 008
19	春秋	兵の形は水に象どる		『孫子』虚实	孫武：？-BC500		東書古 153
20	春秋	童子顔に似いす		『史記』管晏列伝	晏嬰：？-BC500		大修館古 2-192, 東書古 008
21	春秋	童子顔に似いす		『史記』管晏列伝	晏嬰：？-BC500		教出古 b-008
22	春秋	江南の露江北の泉と為る		『説文』春夜	晏嬰：？-BC500		教出古 a-012, 桐原古 074, 教研古 010
23	春秋	愛憎の交		『韓非子』説林上	傅孫公：位 BC534-BC493		教研古 060
24	春秋	東西巴		『韓非子』説林上	孟孫：BC531-BC481		右文古 184
25	春秋	学びて則に之を習う、亦習ばしからずや		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		第一古 056
26	春秋	其の人となりや季顔にして、而も上を犯すを好む者は皆なし		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		
27	春秋	巧言令色鮮なれば		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		筑摩古 046
28	春秋	吾日に三たび吾身を省みる		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		第一古 054, 東書古 043
29	春秋	弟子 入りては則ち季		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		東書古 049
30	春秋	礼の用は程を盡しと為す		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-087, 右文古 211
31	春秋	可なり、未だ盡しくして乘しみ欲み		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		
32	春秋	人を己を知るざるを患はず		『論語』01 学而	孔子：BC552?-BC479		右文古 208
33	春秋	疾を為すは徳を以てすれば醫えは北		『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479		
34	春秋	疾の疾の所に因りて		『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479		桐原古 056, 三省堂古 057, 教研古 044

35	春秋	吾 十有五にして学に志す	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 a-200、學園 2-171 / 桐原 a-132、三省堂 a-306、教研 292、大修館 a-313、筑摩 a-124、東書 a-128、明治 b-289、右文 248	教出古 a-085
36	春秋	今の者は是れよりよく働くことを謂う	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 a-282、桐原 b-290	第一古 056
37	春秋	吾回と謂うこと終日、違わざること 悪なるが如し	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 a-125+	
38	春秋	故きを補わて新しきを知れば、以て 師とあるべしと	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 2-088、兼村 3-135 / 桐原 c-282、三省堂 a-306+	
39	春秋	学びて思わざれば則ち罔し	『論語』03 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 3-172、三省堂 3-201、筑書 2-287、兼村 3-135 / 三省堂 3-307、教研 294、第一古 c-293、大修館 a-312+、筑書 b-321、東書 a-128+、明治 a-285+	桐原古 056、第一古 056、筑書古 045、東書古 043
40	春秋	由よ女に之を知るを善えんか	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479	三筆集 2-176、桐原 2-182、教研 286、第一古 c-293、大修館 a-312+	
41	春秋	十世あるべきや	『論語』02 為政	孔子：BC552?-BC479		東書古 049
42	春秋	木實 二三子、何ぞ教えることを患 えんや。	『論語』03 八佾	孔子：BC552?-BC479		右文古 211
43	春秋	富と貴とは是れ人の欲する所なり	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	第一古 a-117+	三省堂古 056
44	春秋	朝に建つて聞かば	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	右文 252	筑書古 052
45	春秋	士 道に志して悪衣悪食を恥ずる者は	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	右文 252	
46	春秋	參や、吾道は一以て之を貫くと	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	大修館 b-302	教出古 a-091、東書古 142
47	春秋	賢を見てもは齊しからんと思ひ、不賢 を見ては内に自ら看みらざるなり	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	教出 a-307	
48	春秋	徳孤ならず、必ず隣有りと	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	教出 2-024 / 明治 b-290	第一古 055、筑書古 050
49	春秋	徳孤ならず、必ず隣有りと	『論語』04 里仁	孔子：BC552?-BC479	東書 b-325	教出古 a-089、東書古 142
50	春秋	道行われず、樹に垂りて樹に浮かばん	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479	筑書 b-325	東書古 149
51	春秋	田や、千乗の田に其の職を治めしむべし	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-086
52	春秋	女と回や歌れか歌れんと。	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479	筑書 a-126	教出古 a-090
53	春秋	朽木は斲るべからず。糞土の糞は朽 るべからず	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479		
54	春秋	鷹武子、邦に還れば則ち知らざらん	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479	筑書 a-125	
55	春秋	なんぞを 謂の法を言わざる	『論語』05 公治長	孔子：BC552?-BC479	筑書 b-325	
56	春秋	顔回という者有り、学を好む	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-085、筑書古 049、東書古 143
57	春秋	之を仁とせん。命なるるか、斯の人に して、斯の疾有り。	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-091、大修館古 2-264
58	春秋	賢なるか否か問ふ、一服の食、一服の飲、 附巻に在り	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-084、大修館古 1-240
59	春秋	孔子の理を説かざるに非ず。	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479	筑書 b-322、明治 a-295	
60	春秋	女、人を得たりや…行に依らぬらず	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479		大修館古 1-242
61	春秋	賢、文に勝れば則ち野、文に勝 れば則ち史	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479	大修館 b-301	
62	春秋	之を知る者は之を好む者にしかず。 之を好む者は	『論語』06 雍也	孔子：BC552?-BC479	東書 a-129	筑書古 045
63	春秋	何ぞ仁とせんとせん、必ずすんば察せ 察せずんば啓せず、併せずんば察せ ず。一服を奉げて	『論語』07 述而	孔子：BC552?-BC479	第一古 a-119+、筑書 b-323	大修館古 2-265、東書古 150
64	春秋	之を用ふれば則ち行ひ、之を舍つれば 則ち廢る	『論語』07 述而	孔子：BC552?-BC479	第一古 a-123+、東書 a-129、明治 a-296	桐原古 056、第一古 057、右文古 208
65	春秋	之を用ふれば則ち行ひ、之を舍つれば 則ち廢る	『論語』07 述而	孔子：BC552?-BC479	教研 296、筑書 a-127、東書 a-130	教出古 a-089、大修館古 1-243

66	春秋	積食を厭らい水を飲み	「論語」07 述而	孔子：BC562?：BC479	釈出 a-307、敷衍 293、右文 252	筑摩古 050
67	春秋	我は生まれながらにして之を知る者 に非ず	「論語」07 述而	孔子：BC562?：BC479	第一 a-115+	
68	春秋	三人行けば、必ず我が師有り、其の 善なる者を取じて	「論語」07 述而	孔子：BC562?：BC479	敷衍 284、第一 c-293	桐原古 057、第一古 054
69	春秋	仁、遠からんや、我仁を欲すれば 斯に仁至る	「論語」07 述而	孔子：BC562?：BC479	第一 a-115+	
70	春秋	子は通にして通し、感にして感からず	「論語」07 述而	孔子：BC562?：BC479	第一 a-117+	筑摩古 047
71	春秋	文王既に没す、文、茲に在らざらんや	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479		大修館古 2-256
72	春秋	まことに天之道を棄にして特に聖なら しめんとす	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479		東書古 144
74	春秋	顔淵喟然として歎じて曰く、之を仰 げば亦庶く	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479		筑摩古 048
75	春秋	速く者は遅くの如きか、	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479	東書 a-129+, 明治 a-297、右文 253	筑摩古 053
76	春秋	響えは山を為るが如し、未だ響を 成さざらも	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479	右文古 209	
77	春秋	徳生、徳なし	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479	明治 b-291	東書古 144
78	春秋	徳無くして然る徳に松柏の彫むるに 成さざらも	「論語」09 子罕	孔子：BC562?：BC479		
79	春秋	鹿菜けり。子稱より過ぎて曰く、人 を養つくるかと。鹿を問わ	「論語」10 郷党	孔子：BC562?：BC479	釈出 a-307、敷衍 293、東書 b-333+	
80	春秋	養つること有るか、矢の人の為に養 するに非ずして	「論語」11 先進	孔子：BC562?：BC479	明治 a-296	大修館古 2-264、筑摩古 049
81	春秋	未だ人に事すること能わず。	「論語」11 先進	孔子：BC562?：BC479	東書 a-130、右文 253	筑摩古 052
82	春秋	師や過きたり、師や及ばず	「論語」11 先進	孔子：BC562?：BC479		桐原古 057、大修館古 1-241
83	春秋	公且の在る有り、之を如何ぞ其礼闕 くがままに断れを行はむと	「論語」11 先進	孔子：BC562?：BC479		大修館古 1-244、筑摩古 047、右文古 210
84	春秋	吾、女を以て死せりと為すと	「論語」11 先進	孔子：BC562?：BC479	釈出 a-310	
85	春秋	己に死せらるるを仁と為すと	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479	釈出 2-024、光村 3-135 / 第一 c-295	大修館古 1-245
86	春秋	己の欲せるところは、人に施すと なわれ	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479		
87	春秋	君子は奪はず懼れずと	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479		桐原古 057
88	春秋	人皆兄弟あり	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479	明治 a-296	大修館古 1-242、東書古 043
89	春秋	食を足らし兵を足らし民を借にすと	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479	桐原 a-135+, 敷衍 295、第一 a-118+, 大修館 a-316、筑摩 a-126、東書 a-130+, 明治 a-286	三省堂古 057、右文古 209
90	春秋	欲は正なり。子、帥にして正を以つ てせば、欲も欲て正しからざらん	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479	第一 a-118、東書 b-334	
91	春秋	子、政を為すにいくんぞ殺を用いん	「論語」12 顔淵	孔子：BC562?：BC479	第一 c-296	
92	春秋	其の身を正しければ、争せずして行われ	「論語」13 子路	孔子：BC562?：BC479	大修館 a-315	
93	春秋	君も其の身を正しせば	「論語」13 子路	孔子：BC562?：BC479		東書古 050
94	春秋	父は子の為に隠じ、子は父の為に隠す	「論語」13 子路	孔子：BC562?：BC479	釈出 a-309、桐原 a-134、敷衍 293、大修館 a-316、東書 a-121+, 明治 a-298	
95	春秋	君子は相して相せず、小人は同じて相せず	「論語」13 子路	孔子：BC562?：BC479	大修館 b-300、明治 a-299+, 右文 250	第一古 055
96	春秋	剛毅木石、仁に近し	「論語」13 子路	孔子：BC562?：BC479	三省堂 a-308+, 大修館 b-300	筑摩古 046
97	春秋	徹有る者は必ず言有り、言有る者必 ずしも徹有らず	「論語」14 蘄問	孔子：BC562?：BC479		東書古 050
98	春秋	欺くことなけれ、而して之を犯す。	「論語」14 蘄問	孔子：BC562?：BC479		

99	春秋	古の字ぶ者は己の爲に己、今の字ぶ者は人の爲に己	「論語」14 蘧問	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 044
100	春秋	天を恐みず、人を尤めず、下学して上達す。	「論語」14 蘧問	孔子：BC552?・BC479	教出 a-311
101	春秋	子路君子を問う。子曰く、己を修めて以て敬す。	「論語」14 蘧問	孔子：BC552?・BC479	東書 c-294
102	春秋	里豆の糞は用もかつて之を圍けり、里糞の糞はいまだ之を孝はざるなり。	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	教出 a-308
103	春秋	君子固より窮す。小人窮すれば則ち之を知向せん、之を知向せんと曰むざる者は、	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	桐原古 058、右文古 209
104	春秋	人、道を講る無ければ、必ず近き要あり	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 044
105	春秋	君子はこれを己に教め	「論語」16 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	東書 2-088 / 字彙 2-173 /
106	春秋	一言にして以て教之を行く者有ると	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	教出 a-306、桐原 a-134+、三省堂 a-308+、教研 295、第一 a-166+、大修館 b-302、東書 c-292、明治 b-291、右文 251
107	春秋	人よく道を弘む。道の人を弘むるに非ざるなり	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 050
108	春秋	吾かつて糞日食らあす	「論語」15 衛靈公	孔子：BC552?・BC479	三省堂 3-301 / 明治 a-290+、
109	春秋	益者三友、損者三友。直きを友とし、邪を友とし	「論語」16 季氏	孔子：BC552?・BC479	第一 a-116+、大修館 a-313+、筑摩 a-123、右文 249
110	春秋	性あいに定まらぬ	「論語」16 季氏	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 042
111	春秋	徳を顯くにいづくんぞ生刀を用ひん	「論語」17 陽貨	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 045
112	春秋	飽食すると終日、心を用ひる所無し	「論語」17 陽貨	孔子：BC552?・BC479	右文古 212
113	春秋	君子は謙ひて上と爲す。君子專有りて驕んければ	「論語」17 陽貨	孔子：BC552?・BC479	東書古 042
114	春秋	民沮強弱して辭す。孔子之を過ぎ	「論語」18 微子	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 048、東書古 050
115	春秋	帝政は虎よりも猛なるなり	「孔子」履下	孔子：BC552?・BC479	筑摩古 045
116	春秋	徳を顯かす	「市」骨下	孔子：BC552?・BC479	教出 a-088
117	春秋	徳を顯かす	「説語」正義	未差・位 BC495・BC473	三省堂古 128、教研古 044、大修館古 2-286、筑摩古 050
118	春秋	臥新君臣	「十八史略」	何陋・位 BC496・BC468	右文古 178
119	春秋	知言	何陋・位 BC496・BC468	筑摩 b-297、明治 a-271+	明治古 149
120	春秋	鄭人に目くらを賣わんとする者有り	「呂氏春秋」	桐原 a-100	桐原古 068、第一古 073
121	春秋	鄭人に目くらを賣わんとする者有り	「列子」黃帝	教出 a-099、教研古 006、明治古 155	明治古 103
122	春秋	守株	「韓非子」五蠹	教出 a-097	第一古 010、大修館古 1-171
123	春秋	晋亡ぶれば備漢し	「韓非子」五蠹	教出 b-272、桐原 c-260、第一 a-090+、大修館 b-278、東書 c-272、明治 b-266	右文古 180
124	春秋	實を備はざれば臣をして侮むらむ	「史記」刺客列伝	教出 a-100、桐原古 130、教研古 052、右文古 243	第一古 079
125	春秋	無用の用	「老子」十一章	教出古 046、明治古 276、右文古 244	明治古 261
126	春秋				
127	春秋				
128	春秋				
129	韓非子				

130	戦国	大連藤代に藩有り、普通藤代で代傳あり	『老子』十八章	老子：BC400頃？	桐原古131、三省堂古060、第一古125、大修館古1-251、筑摩古121、明治古276
131	戦国	兵は不祥の器、君子の器に非ず	『老子』三十一章	老子：BC400頃？	
132	戦国	名と身といずれか親しむ。身と質といずれか愛する。	『老子』四十四章	老子：BC400頃？	
133	戦国	無為にして天下を成る	『老子』四十七章	老子：BC400頃？	大修館古1-250
134	戦国	無事にして天下を取る	『老子』五十七章	老子：BC400頃？	大修館古2-260、東書古152
135	戦国	人の生や死弱り、其の死するや、天下より柔弱なるは莫し	『老子』七十六章	老子：BC400頃？	東書古146
136	戦国	小国寡民、牛馬の糞糞れも用ひざらじ	『老子』七十八章	老子：BC400頃？	三省堂古061、教研古053、第一古125、大修館古1-252、筑摩古121、明治古277
137	戦国	徳公山を修す、太行・王屋二山は七百里不死の道	『列子』湯問	荘子より前？	三省堂古141、大修館古2-198、筑摩古011
138	戦国	北冥に魚有り其の名を鰓と爲す	『列子』龍叢	荘子より前？	第一古076
139	戦国	足を削り明を盲すや、身を卑くして	荘子：道遊	荘周：BC369?-BC386?	三省堂古131、筑摩古125
141	戦国	伏し以て衆ぶ者を欲す、夢に胡蝶と爲る	荘子：道遊	荘周：BC369?-BC386?	桐原古133
142	戦国	蓬に胡蝶と爲る	『莊子』齊物論	荘周：BC369?-BC386?	桐原古132、三省堂古062、教研古055、大修館古1-254、筑摩古124、明治古151、右文古246
143	戦国	蓬に胡蝶と爲る	『莊子』齊物論	荘周：BC369?-BC386?	桐原古133、三省堂古063、第一古127、大修館古2-261、筑摩古123、右文古245
144	戦国	鹿以て麋を踐むべく、毛以て虱を齧るべし	『莊子』馬論	荘周：BC369?-BC386?	教出古b-076、大修館古2-262
145	戦国	尾を囊中に取く	『莊子』秋水	荘周：BC369?-BC386?	教研古056、第一古128、大修館古1-253、筑摩古072、東書古047、明治古152
146	戦国	荘子妻死す。黒子之を用う	『莊子』至意	荘周：BC369?-BC386?	東書古146
147	戦国	木讒、杞海子王の爲に國讒を爲す	『莊子』達生	荘周：BC369?-BC386?	教研古057
148	戦国	足を削りて之を鑿る。無用を知りて	『莊子』外物	荘周：BC369?-BC386?	教出古a-101
149	戦国	知めてもに用を言うべし。	『莊子』外物	荘周：BC369?-BC386?	三省堂古136
150	戦国	兼愛、若し天下をして兼て相愛し、人を愛すること	『墨子』兼愛上	墨翟：BC468?-BC376	大修館古2-267、筑摩古130、東書古151
151	戦国	兼愛、凡そ天下の情事欲低、其の起る所はの者は	『墨子』兼愛中	墨翟：BC468?-BC376	教出古b-080、桐原古139、教研古062、明治古274
152	戦国	非攻、今一人有り、人の圍に入りて其の兵卒を斃む。	『墨子』非攻上	墨翟：BC468?-BC376	三省堂古138
153	戦国	非攻、一人を殺さば	『墨子』非攻上	墨翟：BC468?-BC376	
154	戦国	狐 虎の威を借る	『韓非子』楚策	韓非：位BC369-BC340	教出a-280、桐原b-284、三省堂a-280+、教研268、第一古088+、東書b-310、明治b-267
155	戦国	狐 虎の威を借る	『韓非子』楚策	韓非：位BC369-BC340	教出a-280、桐原b-284、三省堂a-280+、教研268、第一古088+、東書b-310、明治b-267
156	戦国	百を使すの君、昔者韓昭侯は戯いて取か	『韓非子』二柄	韓昭侯：位BC358-BC333	教出古b-076、桐原古135、三省堂古140、教研古059、第一古128、大修館古1-255、筑摩古128、東書古062、右文古250
157	戦国	孫臏	『史記』孫子孫起列伝	孫臏：位BC356-BC320	教研古097
158	戦国	五歩百歩	『史記』孫子孫起列伝	孫臏：位BC369-BC319	
159	戦国	楚威國を亡ぼす	『孟子』梁惠王上	魏王：位BC369-BC319	明治古154
160	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
161	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
162	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
163	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
164	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
165	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
166	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
167	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
168	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
169	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
170	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
171	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
172	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
173	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
174	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
175	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
176	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
177	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
178	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
179	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
180	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
181	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
182	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
183	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
184	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
185	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
186	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
187	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
188	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
189	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
190	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
191	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
192	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
193	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
194	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
195	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
196	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
197	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
198	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
199	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	
200	戦国	魏國を亡ぼす	『韓非子』内儲說上	魏王：位BC369-BC319	

160	韓国	軀足	『魏国書』齊敬	蔡邕王：?BC296	魏出b-276, 桐原c-262, 三省堂a-284+, 大修館a-282, 東書c-276, 明治a-270	第一古011
161	韓国	孟母斷機	『列女伝』	孟子：BC372?BC289?	三省堂101	明治古101
162	韓国	孟子用を漢しよせずしてきたる。また母は以て其の國を捨れること知らんとするかと	『孟子』梁惠王上	孟子：BC372?BC289?	東書a-132+	三省堂古130, 第一古068
163	韓国	機を擘いて人を食ましむ	『孟子』梁惠王上	孟子：BC372?BC289?	明治古147	大修館古2-268
164	韓国	母が老を愛とし、	『孟子』梁惠王上	孟子：BC372?BC289?	桐原a-136+, 大修館a-317	三省堂古058, 東書古051
165	韓国	机断無ければ恒心盡し	『孟子』梁惠王上	孟子：BC372?BC289?		魏出古a-094, 桐原古059, 三省堂古059, 教研古046, 大修館古1-246, 筑摩古056, 東書古044, 右文古215
166	韓国	人に忍び受るの	『孟子』公孫丑上	孟子：BC372?BC289?		筑摩古055
167	韓国	水は唇に東西を分かつ無きも、上下	『孟子』告子上	孟子：BC372?BC289?		桐原古054, 東書古144
168	韓国	仁は人の心なり。義は人の理なり	『孟子』告子上	孟子：BC372?BC289?	桐原a-136, 三省堂a-309, 大修館a-314	筑摩古054, 東書古144
169	韓国	天爵・人爵	『孟子』告子上	孟子：BC372?BC289?	右文古214	東書古145
170	韓国	君子に三業あり、而して天下に王たるは	『孟子』尽心下	孟子：BC372?BC289?	大修館古2-258	東書古145
171	韓国	機杼より織に至るまで五百有餘。	『孟子』尽心下	孟子：BC372?BC289?		大修館古2-258
172	韓国	先ず親より始りよめ	『魏国書』高祖/『十八史略』	魏出b-284, 第一-a-092+, 大修館a-286, 明治a-276	桐原古012, 筑摩古009, 東書古009	
173	韓国	鶏鳴狗盜	『十八史略』	孟嘗君：?BC279?	魏出b-284, 第一-a-092+, 大修館a-289, 筑摩b-312, 東書a-124+	
174	韓国	漁父の辭	桐原	BC343?BC277?		三省堂古032, 教研古084, 筑摩古062, 東書古066, 明治古132, 右文古187
175	韓国	驛を完うして帰る	『史記』廉頗藺相如列伝/『十八史略』	趙惠文王：位BC298-BC266	魏出古b-044, 桐原古115, 大修館古2-227, 東書古089	
176	韓国	灌池の会	『史記』廉頗藺相如列伝/『十八史略』	趙惠文王：位BC298-BC266	魏出古b-044, 桐原古115, 大修館古2-227, 東書古090, 明治古287	
177	韓国	朝服の交わり	『史記』廉頗藺相如列伝	趙惠文王：位BC298-BC266	魏出古b-047, 桐原古117, 大修館古2-230, 明治古270	
178	韓国	海夫の利	『魏国書』燕涿	趙惠文王：位BC298-BC266	右文古181	
179	韓国	趙の太后	『魏国書』趙涿	趙孝成王：位BC286-BC266 0年	第一古083	
180	韓国	不死の薬	『韓非子』說休上	昭襄王(位BC286-BC266) 0年	東書古011, 明治古157	
181	韓国	藪中の藪	『韓非子』說休上	昭襄王(位BC286-BC266) 0年	第一古016	
182	韓国	字は以て已むべからず。青は之を藪より取りて	平原君：?BC251	魏出古b-074, 桐原古063		
183	韓国	天行帯有り。衆の爲に存せず。衆の爲に亡びず	荀况：BC313?-BC238?	魏出古b-074, 桐原古063		
184	韓国	周蓀ち。太嗚る	荀况：BC313?-BC238?	三省堂古135		
185	韓国	人の性は變なり	荀况：BC313?-BC238?	桐原古064, 東書古150		
186	韓国	君主の二柄	『韓非子』二柄	魏出古a-097, 桐原古065, 三省堂古134, 教研古060, 大修館古1-247, 筑摩古058, 東書古045, 右文古217		
187	韓国	矛盾	『韓非子』矛盾	魏出古b-280		
188	韓国	母の子を愛するや。	韓非：BC295?-BC233	学園1-181, 魏出1-020, 三省堂1-082, 東書1-095, 光村1-123 / 魏出a-278+, 桐原b-282, 教研265, 第一-d-208, 大修館a-280, 東書a-104+, 右文244		
189	韓国	愛に非ざるや。	韓非：BC295?-BC233			
190	韓国	刑罰	『史記』刑考列伝/『十八史略』	魏出古114		
191	韓国	菓・鳩に誘う	『説苑』	第一-d-220		
192	泰	燕雀いずらんぞ鴻鵠の志を知らんや	『十八史略』	明治a-280		
193	泰	桐原, 大文法中に此の風にならざるべかり	『史記』高祖本紀	魏出古a-030, 東書古106		

194	秦	劉邦、東朝に天子の氣あり	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195	東書古107
195	秦	沛公秦宮に入る	『史記』留侯世家	劉邦：BC247?-BC195	東書古080
196	秦	項羽	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	教出古a-028
197	秦	鴻門の会	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	教出古a-032、桐原古040、三省堂古038、教研古022、明治古041、大修館古1-192、英書古032、東書古030、明治古107、右文古254
198	秦	吾軫放火	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	教出古'a-042、桐原古048、明治古114
199	秦	四面楚歌	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	教出古'a-044、桐原古050、三省堂古048、教研古031、明治古048、大修館古1-205、英書古038、東書古036、明治古115、右文古260
200	秦	天の我を仁はすにして戦いの罪に非ざるなり、	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	大修館古1-207
201	秦	項王自刎、烏江亭	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-BC202	教出古'a-047、桐原古052、三省堂古051、教研古034、明治古051、大修館古1-211、英書古040、東書古038
202	前漢	吾の天下を有らしし所以の者は何ぞや	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195	東書古109
203	前漢	飢、海内に加りては饑に傳る、大風の象	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195	東書古110
204	前漢	侯をして下より出づ	『史記』淮陰列伝	韓信：BC?-BC196	東書古114
205	前漢	信欲圖向と麗より向を奇とす	『史記』淮陰列伝	韓信：BC?-BC196	東書古097
206	前漢	水舟にして漂す	『史記』淮陰列伝	韓信：BC?-BC196	東書古115
207	前漢	汝死して良母享らる	『史記』淮陰列伝	韓信：BC?-BC196	東書古117
208	前漢	蘇秦が母	蘇秦：BC179-BC122	教出a-282、桐原a-102、英書a-100、明治b-272	大修館古1-175、右文古182
209	前漢	李広、蘇武	『史記』李將軍列伝／『蘇武』	李広：BC?-BC119	教研古110、英書古074
210	前漢	占詩	秋風の聲	BC156-BC37	三省堂古083、英書古105
211	前漢	伯金 柱に泣く	『説苑』	桐原b-286	桐原古121、東書古012
212	前漢	蘇武と李陵、蘇武節を持ち、	『資治通鑑』／『十八史略』、蘇武：BC140-BC60	蘇武：BC140-BC60	教出古b-011
213	前漢	王昭君	『西京雜記』／『世説新語』	漢元帝：位BC49-BC33 蘇書c-300、明治b-274	三省堂古080、東書古059
214	前漢	占詩	『案府詩集』		
215	後漢	天台二女	AD82	第一a-108	
216	後漢	天知る地知る	楊震：54-124	英書b-299	
217	後漢	蘇上の子子、	陳寔：104-187		教出古b-012、桐原古011、大修館古1-174
218	後漢	行行種ねく行行	『文選』		教出古a-065、桐原古017、第一古088、大修館古1-219、東書古060
219	後漢	思返たる寒十星	『文選』		教研古077
220	後漢	占詩 去る者は日に以て離し	『文選』		三省堂古082
221	後漢	占詩 年百日に離たす	『文選』		三省堂古068
222	三國	幾少くして儻、權敵有り、任俊故、漢にして	曹操：155-220		三省堂古070
223	三國	魏武 刀を捉る	曹操：155-220	東書c-296	三省堂古070
224	三國	魏武帝に云う我が腹中に安りに返づくべからず	曹操：155-220		三省堂古070
225	三國	魏武帝に言ひ入己を能うくせんを欲すは	曹操：155-220		教出古a-081
226	三國	魏明帝と曹芳	曹操：155-220		教出古a-074
227	三國	曹操・主母間に敵に乗りて難を置く	曹操：157-231	東書c-298	教研古008
228	三國	曹操が弟の死において起ちて難に在る	劉備：161-223		三省堂古071
229	三國	諸葛孔明、孔明臥龍、三國の凡、水魚の交わり	諸葛亮：181-234	英書b-314	教出古'a-078、桐原古070、三省堂古072、右文古283

230	三國	梅の将呂蒙初め学ばず。梅蒙に勤めて書を讀ましむ	『十八史略』	孫權：182-252			三省堂古074、筑摩古008
231	三國	赤壁の戦。曹操軍路を撃つ。表亭す。子の孫福州を孝けて	『十八史略』	208年			三省堂古074、第一古020
232	三國	死せる龍皇。生ける仲連を走らす	『十八史略』	司馬懿：179-251	魏出a-292、桐原b-304+、筑摩a-118		
233	三國	七歩の詩	『世説新語』	曹沖：196-208			桐原古018
234	三國	蘇若玉神沖	『三國志』	劉伶：265-274(初)			魏出古b-016
235	西晋	劉伶酒を嗜む	『世説新語』	孫子綽：2187-293			桐原古008、教研古007、大修館古1-173、東書古013、明治古097
236	西晋	石に蕉を蕉に枕す	『世説新語』 / 『蒙求』				桐原古072、筑摩古077
237	西晋	三顧。周郎年少き時、兗強快氣にし	『世説新語』	周郎：236-297			
238	西晋	鬼を爪る。兩儀の朱冠伯	『搜神記』	石崇：249-300			教研古066
239	西晋	此必ず吾妻ならん	『世説新語』	王戎：234-305			魏出古a-008
240	西晋	俊活	『搜神記』	晋武帝：236-290			
241	西晋	十日の酒。狄希は中山の人なり	『搜神記』				魏出古b-086、教研古069
242	西晋	斷腸	『世説新語』	桓温：312-373			
243	東晋	王子猷。此君。	『世説新語』	王子猷：?-388			右文古183
244	東晋	白水菜女	『搜神記』	東晋安帝：位396-418			第一古032
245	東晋	飲酒	陶潜	365-427			魏出古c-068、三省堂古084、大修館古1-221、筑摩古108、東書古062、明治古122
246	東晋	子を賣む	陶潜	365-427			第一古089、東書古063
247	東晋	梅云來の序	陶潜	365-427			魏出古b-052、大修館古2-246、右文古189
248	東晋	梅花漁記	陶潜	365-427			魏出古a-052、桐原古032、三省堂古028、教研古087、大修館古1-230、東書古069
249	東晋	五柳先生の伝	陶潜	365-427			魏出古c-038、筑摩古065、明治古135
250	南北	魏勸の歌	『樂府詩集』 / 『古詩集解』				魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
251	南北	面龍烹餅	『樂府詩集』				桐原古008、教研古009、大修館古1-172
252	南	杜子春伝	李復言	梁武帝：位502-549			三省堂古094、第一古100
253	初唐	貞觀の治	魏徵	杜子春：北周・隋			魏出古b-317、明治a-282
254	初唐	易水送別	賈島	唐太宗：597-649			魏出古c-148、第一a-111+
255	初唐	杜少府の任に蜀州に之く	賈島	640?-684?			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
256	初唐	白頭を思ひ暮る代わる	王勃	649?-676?			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
257	初唐	瀾州石に寄る歌	陳子昂	651-673?			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
258	初唐	紫雲峯の宿夜	張鷟	661-702			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
259	初唐	涼州詞	王翰	660?-732?			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
260	盛唐	龜鶴巖に登る	王之涣	687-726?			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
261	盛唐	涼州詞	王之涣	688-742			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
262	盛唐	建德江に宿る	孟浩然	689-740			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
263	盛唐	春曉	孟浩然	689-740			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
264	盛唐	故人の墓に過ぎる	孟浩然	689-740			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205
265	盛唐	潮庭に風む	孟浩然	689-740			魏出古a-067、桐原古019、三省堂古081、東書古064、右文古205

266	盛唐	五律	王維に望別す	孟浩然	689-740	筑摩 a-106	第一古 035
267	盛唐	七絶	秋中記	沈既濟	誕生: 720 年通土		教出古 a-019, 桐原古 023, 東書古 020, 右文古 200
268	盛唐	七絶	芙蓉寮にて卒業を送る	玉皇師	698?-755?		三省堂古 019
269	盛唐	七絶	従軍行	王昌齡	698?-755?		教出古 a-017, 三省堂古 016, 教研古 012, 筑摩古 020, 東書古 018, 右文古 198
270	盛唐	五絶	蘭茶	王維	699?-761?	桐原 c-275	
271	盛唐	五絶	竹里館	王維	699?-761?	教出 a-298, 桐原 b-289, 筑摩 a-102, 東書 c-281	
272	盛唐	五絶	辛夷坞	王維	699?-761?	東書 b-315	大修館古 1-178
273	盛唐	五絶	雜詩	王維	699?-761?	帝國 3-168 /	桐原古 021
274	盛唐	七絶	元二の安西に使いを送る	王維	699?-761?	教出 b-292, 桐原 a-109+, 三省堂 a-289+, 教研 283, 第一 a-104+, 大修館 a-302+, 筑摩 b-305, 東書 a-111+, 明治 a-288+, 右文 258	
275	盛唐	七絶	九月九日山東の兄弟を憶う	王維	699?-761?	三省堂古 022	第一古 025, 東書古 097
276	盛唐	五律	香積寺に遊る	王維	699?-761?	東書古 019	
277	盛唐	五絶	怨情	李白	701-762	大修館古 019	
278	盛唐	五絶	秋浦の歌	李白	701-762	教出古 b-020, 第一古 024	東書古 098
279	盛唐	五絶	頌り敬亭山に坐す	李白	701-762	教出古 b-020, 第一古 024	
280	盛唐	五絶	静夜思	李白	701-762	帝國 3-164 /	
281	盛唐	五絶	玉階君	李白	701-762	三省堂 a-288+, 教研 282, 第一 a-102+, 東書 c-285	
282	盛唐	七絶	黃鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る	李白	701-762	東書 c-301	
283	盛唐	七絶	廬山の瀑布を望む	李白	701-762	教出 3-066, 三省堂 2-068, 東書 3-086, 光村 2-125 /	
284	盛唐	七絶	早に白帝城を望す	李白	701-762	教出 b-291, 三省堂 c-282, 第一 a-104+, 大修館 b-290, 東書 b-317+, 右文 258	教出古 a-022, 桐原古 022, 東書古 020
285	盛唐	七絶	峨眉山月歌	李白	701-762	教出 a-300, 桐原 b-290+, 教研 284, 東書 a-112, 明治 b-283	三省堂古 018, 右文古 200
286	盛唐	七絶	鳳凰台上歌	李白	701-762	桐原 a-108	大修館古 1-181
287	盛唐	七絶	鳳凰臺を望す	李白	701-762		大修館古 2-204
288	盛唐	七絶	客中行	李白	701-762		明治古 123
289	盛唐	七絶	山中對酒	李白	701-762	筑摩 a-104	教研古 014
290	盛唐	七絶	山中間管	李白	701-762	大修館 a-302	大修館古 2-203
291	盛唐	七絶	春夜洛城に笛を聞く	李白	701-762	筑摩 a-106	教出古 b-021
292	盛唐	七絶	汪倫に贈る	李白	701-762	筑摩 b-304, 明治 a-287	
293	盛唐	五律	友人を送る	李白	701-762	桐原 a-113, 東書 a-113+	大修館古 1-184, 筑摩古 023
294	盛唐	五古	長干行	李白	701-762		大修館古 2-206
295	盛唐	五古	月下の独酌	李白	701-762	右文 261	教出古 b-022, 桐原古 078, 筑摩古 109, 東書古 098
296	盛唐	七古	酒を廻りて月に問う	李白	701-762		教出古 a-069, 教研古 080, 大修館古 1-222
297	盛唐	古詩	將進酒	李白	701-762		三省堂古 085
298	盛唐	七絶	春夜洛陽の園に暮するの序	高適	701?-765	大修館古 2-208	大修館古 2-208
299	盛唐	七律	除夜作	高適	701?-765	桐原古 030, 三省堂古 036, 教研古 040, 大修館古 1-232	桐原古 1182
300	盛唐	五絶	蘇轍	杜甫	704?-754	第一 a-102+, 右文 259	教出古 a-024, 教研古 019, 東書古 024
301	盛唐	五絶	絶句	杜甫	712-770	光村 2-124 /	教出古 a-016
302	盛唐	五律	春望	杜甫	712-770	桐原 a-106, 三省堂 b-288, 大修館 a-300, 東書 a-110+, 右文 256	
						帝國 3-163, 教出 3-069, 三省堂 2-070, 東書 2-094 /	
						教出 b-290+, 桐原 b-297, 三省堂 a-105+, 大修館 a-304+, 東書 c-287, 明治 b-284, 右文 260	

303	盛唐	五律	月夜寄弟を憶う	杜甫	712-770			東書古 023
304	盛唐	五律	月夜	杜甫	712-770	東研 286, 明治 a-289	東書古 023, 第一古 026, 大修館古 1-185	
305	盛唐	五律	旅夜に觸を憶す	杜甫	712-770	東書 b-318	東研古 018, 大修館古 2-211	
306	盛唐	五律	旅夜題を憶ふ	杜甫	712-770	東書 a-114	大修館古 2-210	
307	盛唐	五律	岳陽樓に登る	杜甫	712-770	桐原 a-112, 三省堂 a-292+	明治古 124	
308	盛唐	五律	春日李白を憶う	杜甫	712-770	筑摩 a-107		
309	盛唐	五律	見す	杜甫	712-770	筑摩 b-307		
310	盛唐	七律	登高	杜甫	712-770	東研 287, 第一 a-102+	教出古 b-024, 桐原古 025, 三省堂古 023, 大修館古 1-186, 筑摩古 024, 東書古 099, 右文古 202	
311	盛唐	七律	秋興	杜甫	712-770		大修館古 2-212	
312	盛唐	五古	石壕吏	杜甫	712-770		教出古 025, 第一古 090, 大修館古 1-223, 筑摩古 111, 東書古 026	
313	盛唐	五古	新婚別	杜甫	712-770		明治古 241	
314	盛唐	古詩	兵車行	杜甫	712-770		桐原古 080, 三省堂古 086, 東研古 081, 大修館古 2-213, 東書古 100	
315	盛唐	古詩	襄陽行	杜甫	712-770	右文 267	東書古 021	
316	盛唐	七絶	仄に入る旅人に逢う	岑参	715-770		東研古 014, 第一古 025, 大修館古 1-183	
317	盛唐	七絶	蒲中の作	岑参	715-770		東書古 023	
318	中唐	五律	僧の日本に帰るを送る	錢起	722-780?		大修館古 2-284	
319	中唐	五律	人語伝	李肇亮	李肇 756 年進士		右文古 202	
320	中唐	五律	除夜石風の歌に宿る	李肇亮	732-789		大修館古 1-178	
321	中唐	五絶	秋夕	耿湋	734-?	明治 b-280	大修館古 1-178	
322	中唐	五絶	秋夜丘屋外に宿す	耿湋	736?-791?	大修館 b-288	筑摩古 020, 東書古 019	
323	中唐	七律	李肇・充謙に寄す	戴叔伦	736?-791?		東研古 020	
324	中唐	五古	速子吟	孟常	751-814		東書古 025	
325	中唐	七絶	秋思	張翥	765?-830?	右文 259		
326	中唐	七絶	龍興記	陳玄祐	766-779 ころ		筑摩古 080, 東書古 134, 明治古 255	
327	中唐	七律	左遷せられたる朝人に寄り荊楚湘に示す	韓愈	768-824		三省堂古 024, 大修館古 1-270, 明治古 126	
328	中唐	七律	孟東野にやうる書	韓愈	768-824		東書古 156	
329	中唐	七律	雜説	韓愈	768-824		教出古 a-056, 第一古 132	
330	中唐	七律	諷の説	韓愈	768-824		教出古 b-057, 桐原古 036, 東研古 036, 東研古 116, 大修館古 2-250, 筑摩古 067, 明治古 138	
331	中唐	七絶	雜蔵	韓愈	韓愈 768-824		明治古 098	
332	中唐	七絶	陽春夜泊	張翥	韓愈 a-110+, 明治 a-289		三省堂古 020, 東研古 015, 筑摩古 021, 東書古 021, 右文古 199	
333	中唐	五絶	秋風の引	新馬場	772-842	筑摩 a-103	教出古 a-018, 桐原古 020, 第一古 024, 大修館古 1-182	
334	中唐	五律	早	白居易	772-846		東書古 024	
335	中唐	七律	八月十五日夜夢中に独り直り直り月に対して元九を憶う	白居易	772-846	桐原 a-114+, 東研 288, 筑摩 a-108, 明治 a-290	三省堂古 095, 第一古 026	
336	中唐	七律	香炉峯下に新たに山居を卜し草堂初めて成る閑寂に贈す	白居易	772-846	桐原 a-301, 東研 a-114, 右文 260	大修館古 2-270	
337	中唐	七古	長恨歌	白居易	772-846		教出古 b-027, 桐原古 083, 三省堂古 120, 東研古 126, 第一古 092, 大修館古 2-272, 筑摩古 114, 東書古 122, 明治古 243, 右文古 234	
338	中唐	七古	赤政翁	白居易	772-846		教出古 a-070, 大修館古 1-225	
339	中唐	詩	(明諷句)	白居易	772-846		東書古 130	

340	中唐	五絶	江雪	柳宗元	773-819	敍出 a-298+, 第一 a-100+, 大修館 a-301+, 筑摩 a-103+, 東書 a-111+, 明治 a-286, 右文 257	三省堂古 017
341	中唐	七古	漁翁	柳宗元	773-819		明治古 125
342	中唐		磨石鏡者送之序	柳宗元	773-819		敍出古 b-062, 東書古 073
343	中唐		捕蛇者之説	柳宗元	773-819		敍出古 a-058, 三省堂古 *108, 大修館古 *1-234, 東書古 *159, 明治古 *142, 右文古 192
344	中唐		黔之驢	柳宗元	773-819		第一古 134, 大修館古 2-196, 筑摩古 014
345	中唐		象駝の伝	柳宗元	773-819		敍研古 042
346	中唐		蕉の説	柳宗元	773-819		柳原古 *101, 東書古 138
347	中唐		三夢記	白居易	776?-826		東書古 022, 明治古 127
348	晚唐	七絶	別れに贈す	杜牧	803-853?	筑摩 a-105	敍出古 a-050, 三省堂古 055
349	晚唐	七絶	長江草に題す	杜牧	803-853?	三省堂 a-290+, 第一 a-101+, 筑摩 b-306, 明治 b-281, 右文 257	敍出古 a-021, 大修館古 1-179
350	晚唐	七絶	江南の春	杜牧	803-853?	敍出 a-297+, 敍研 284, 大修館 a-303+	筑摩古 021
351	晚唐	七絶	山行	杜牧	803-853?		
352	晚唐	七絶	清明	杜牧	803-853?	明治 a-287	敍研古 013
353	晚唐	五絶	酒を勧む	于武陵	810?-?	敍出 b-205, 明治 a-286	東書古 102
354	晚唐	五絶	寒源原に暮る	李商隱	812?-858	大修館 b-291	東書古 102
355	晚唐	七律	洛陽北に寄す	李商隱	812?-858		
356	晚唐	七絶	山寺の夏日	高軒	?-887		
357	晚唐	七律	咸陽城東樓	許渾			
358	晚唐		人面桃花	孟郊		敍出 a-297	右文古 203
359	北宋		雨笠蓑	歐陽修	1007-1072	大修館 b-306	敍出古 b-088, 柳原古 082, 三省堂古 090, 敍研古 072
360	北宋		花語録	歐陽修	1007-1072		東書古 163
361	北宋	七絶	廬山四時	王安石	1021-1086		敍出古 b-065, 敍研古 *090
362	北宋		仲水を贈む	王安石	1021-1086		東書古 103
363	北宋		寒魚記	程顥	1033-1107		第一古 136
364	北宋	七絶	六月二十七日望湖樓醉書	蘇軾	1036-1101		筑摩古 016
365	北宋	七絶	春夜	蘇軾	1036-1101		東書古 103
366	北宋	七絶	登道寧の遠潮閣	蘇軾	1036-1101		三省堂古 021, 大修館古 1-180, 明治古 128
367	北宋		赤壁の賦	蘇軾	1036-1101		敍研古 016
368	北宋		医家談笑	蘇軾	1036-1101		第一古 063
369	北宋	七絶	南中岳陽樓に登り石山を望む	蘇軾	1045-1105		敍研古 017
370	北宋		新開湖の漁人	蘇軾	1047-1126の子		
371	南宋		生魚の言	洪邁	1123-1202	第一 a-126	敍出古 b-067, 三省堂古 102, 敍研古 120, 右文古 227
372	南宋	七律	山西の村に遊ぶ	陸游	1125-1210?		
373	南宋		入蜀記	陸游	1125-1210?		三省堂古 026, 東書古 104, 明治古 129
374	明	五絶	寶母給進を敬す	高濂	1381-1374		第一古 067
375	明		胡應龍を尋ふ	高濂	1381-1374		第一古 065
376	清		梨を贈る	「聊齋志異」	譚夢龍: 1674-1646	明治 b-276	敍研古 013
377	清		梨を贈る	「聊齋志異」	譚夢龍: 1640-1715		敍出古 a-010, 三省堂古 014
378	清		梅を備む	「聊齋志異」	譚夢龍: 1640-1715		柳原古 096
379	清	七律	赤鯿	趙翼	1727-1814		筑摩古 084
380	現代		松露	魯迅	1881-1936	學園 3-186, 三省堂 3-098, 東書 2-128, 光村 3-088 /	右文古 232

1	大田	五絶	五言、贈蘇一絶	大澤草子	663-686	東書古 076
2	平安	七律	門を出でず	香原道真	845-903	第一古 028, 大修館古 2271, 筑摩古 028
3	平安	七絶	梅花	香原道真	845-903	敦研古 134
4	平安	七絶	九月十日	香原道真	845-903	教出古 a-104
5	平安	七律	家書を読む	香原道真	845-903	明治古 285
6	平安	七律	壺ノ浦	壺ノ浦: 1185	教出古 b-094	
7	平安	七絶	能登殿の殿前	「日本外史」	明治古 288	
8	室町	七絶	山家	壺ノ浦: 1185	東書古 077	
9	室町	五律	野古の島の南房の壁に題す	1336-1405	敦研古 135	
10	戦国	五律	争う所来望に在らず	純徳中律	教出古 b-096, 大修館古 1-267, 東書古 082, 行文古 185	
11	戦国	五律	信玄何処に在る	武田信玄: 1521-1573	筑摩古 132	
12	戦国	五律	藤原信玄に贈す	武田信玄: 1521-1573	敦研古 138, 東書古 083	
13	戦国	七絶	九月十三夜	藤原信玄: 1521-1573	明治古 286	
14	戦国	七絶	補致問	1530-1578	教出古 b-090	
15	江戸	七絶	富士山	補致問: 1560	筑摩古 027	
16	江戸	七絶	野中兼山	石田丈山	教出古 a-107, 東書古 015	
17	江戸	七絶	字は知行を兼ね	野中兼山: 1615-1663	筑摩古 135	
18	江戸	七絶	仁斎赤貧	伊藤仁斎	大修館古 1-266	
19	江戸	七絶	伊藤仁斎、君子は争う所無し	伊藤仁斎: 1627-1705	教出古 a-108	
20	江戸	七絶	伊藤仁斎、聖人に非ず	伊藤仁斎: 1627-1705	筑摩古 137, 東書古 079	
21	江戸	七絶	字は漸を以て 日に進むを譽ぶ	1630-1714		
22	江戸	七絶	字は学者の急とする所に非ず	貝原益軒		
23	江戸	七絶	桑牛花	1666-1728		
24	江戸	七絶	冬夜飲簪	1734-1801		
25	江戸	七絶	世を渉るの道	1748-1827		
26	江戸	七古	天草洋に題す	佐藤一斎	教出古 a-105, 補原古 028, 三者堂古 112, 第一古 028, 大修館古 1-263	
27	江戸	七絶	不瀬無瀬山を撃つのに題す	1772-1859	東書古 080	
28	江戸	七古	本能寺	1780-1832	補原古 026, 三者堂古 113	
29	江戸	七絶	社林狂歌、衛生に示す	1780-1832	教出古 b-098, 敦研古 136	
30	江戸	七絶	山行 同法に示す	1780-1832	教出古 b-101	
31	江戸	七絶	雪は春風に備たわたり家行くにかたる	1782-1856	補原古 027, 三者堂古 114, 大修館古 1-262, 東書古 077	
32	江戸	七絶	まさに東海せんとして壁に題す	1787-1867	大修館古 1-268	
33	江戸	七絶	佛成	1801-1878	大修館古 1-263	
34	明治	五律	夏目漱石の伊子に之を告ぐる	1817-1858	大修館古 1-264	
35	明治	五絶	夏目漱石	1827-1877	三者堂古 117	
36	明治	七絶	白面に題す	1862-1922	三者堂古 115, 第一古 029	
37	明治	七絶	夏目漱石	1867-1916	教出古 a-106	
38	明治	五絶	無題	1867-1916	三者堂古 116, 敦研古 137, 大修館古 1-265, 東書古 078, 明治古 287	